

令和7年度第1回 学校運営協議会 議事録

校名	府立みどり清朋高等学校
校長名	藤原 隆志

開催日時	令和7年6月19日（木） 14:00～15:30
開催場所	みどり清朋高等学校 大講義室
出席者(委員)	木下会長、田中副会長、山口委員、高田委員、荊尾委員
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席、首席・生徒指導部長、教務部長、 進路指導部長、保健部長、総務部長、 第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任
協議資料	学校運営協議会 実施要項 令和6年度学校評価、令和7年度学校経営計画 令和7年度重点目標及び達成目標・具体方策

議題等

1 学校運営協議会会長・副会長選任

2 学校運営協議会 実施要項（教頭）

新たに就任された委員の方々に周知。オンライン会議出席についての条項の追加について説明。

3 令和6年度「学校評価」及び 令和7年度「学校経営計画」（校長）

昨年度第3回学校運営協議会で、全会一致で承認されている。令和6年度「学校評価」については、特に意見なし。

令和7年度「学校経営計画」の意見については、以下の「協議内容・承認事項等（意見の概要）」欄で詳細を記す。

4 令和7年度 重点目標及び達成目標・具体方策について（3学年・5分掌）

重点目標は以下のとおり。

【1学年】 1. 社会で活躍できる人になる。（年間遅刻数200以下、クリーン活動） 2. 確かな学力 3. 個々の進路の方向性に沿った、確かな文理選択とコース選択（大学見学、分野別説明会）

【2学年】 1. 社会で活躍できる人になる。（年間遅刻数200以下） 2. 確かな学力

3. 進路意識の高揚（大学見学、分野別説明会）

【3学年】 1. 社会で活躍できる人になる。（年間遅刻数200以下） 2. 確かな学力と応用力 3. 個々の進路実現

【教務部】 1. 早期連絡と提出期限の徹底と内容の正確さ

2. 専門コース設置校としての内容の充実 3. 運営体制の強化

【生徒指導部】 1. 生徒の規範意識の向上を柱とし、規則の遵守、問題事象の未然予防・早期解決に努めることで誰もが安全に生活できる学校づくりを行い、内面・外面から自己を磨くことができる生徒指導をめざす。

2. 生涯にわたり、生徒の良き思い出として刻まれるような達成感・充実感が得られる行事づくりをめざす。

【進路指導部】 1. 自学自習の習慣を身につけさせるとともに、基礎・基本の確実な定着や自ら学び自ら考える等の「確かな学力」の育成をはかり、進路実現に必要な学力を育む。

2. 生徒一人ひとりが自分の将来への生き方への関心を高め、自己の能力・適性の発見と開発に努めて、自らの意志で自己の進路を選択するとともに、自己実現に必要な力の伸長が図られるよう、積極的に指導・支援する。

3. 教員間での情報の共有と保護者への情報提供

【保健部】 1. 基本的生活習慣の改善・定着を図る。

2. 美化活動の改善・定着を図る。

3. 学校保健活動を展開する中で、生徒の健康教育・防災教育の推進をはかる。

【総務部】

1. 業務内容の確定と周知、実行 2. SNS や HP による広報活動 3. 中学校への広報活動

これらの目標に沿って、重点事項を定め、各学年・分掌の具体的な取り組みについて、説明があった。

【1 学年】教室内に教材を置いて帰らない方針のもと、生徒自身に自己管理をてっていさせる意識を持たせたい。外部産業の学習デジタルコンテンツを活用した苦手克服、基礎学力定着を図る。

【2 学年】遅刻者数を減らしていく。授業規律を確立させ、勉強する環境を保つ。各委員が前に立つ機会を設け、各行事でリーダーを経験する。外部産業の学習デジタルコンテンツを活用した苦手克服、基礎学力定着を図る。

【3 学年】「遅刻ゼロ週間」等を設け、生徒自身が社会人一步手前としての自己管理能力などを身に着ける。外部産業テストによる自分の学力到達度を把握し、個々の進路実現に向けて、高い志を持ち最後まで諦めずに努力する生徒を育成したい。

【教務部】科目選択する生徒のニーズに合わせたシラバスの見直し、専門コースの見直しを検討したい。

【生徒指導部】遅刻者数の減少をさらに進めるための遅刻指導の強化。アンダー1000 を掲げる。昨年度は 943（通院等を除く）であった。部活動加入率の増加を図る取り組み。自律を促す指導に切り替えるため、本鈴 1 分前のメロディーチャイムの廃止を継続実施する。

【進路指導部】進学講習（放課後・夏期講習など）、模擬試験、自習室の開放などを組織的に運営することにより、大学進学に向けた指導・支援を行っていく。公務員外部セミナー、看護体験等、大学進学希望生徒以外への対応もしっかり生徒に寄り添って実施したい。各種検定試験で資格取得に向けた動きも行う。

【保健部】実動防災避難訓練の継続実施により、生徒の防災意識を高める指導を行いたい。今年度も命を大切に作る指導で、さまざまな生徒向け講演会を実施したい。

【総務部】中学校への情報提供は、中高連絡会、中学校訪問の継続実施、外部の説明会への参加によって、実施したい。学校公式 SNS を立ち上げ、学校情報の発信も今後実施検討

中である。
協議内容・承認事項等（意見の概要）
1 令和7年度「学校経営計画」について 昨年度新たに追加し、今年度も継続した項目「生徒の安全・安心を確保する学校」に関して、交通安全の取り組みについて、本年度、大阪府の SafetyBicycle 推進校として①地元警察署と共同した自転車の安全運転に係る共同研究②地元企業と共同で実施する高校生向けのヘルメットデザイン開発の事業を展開していくことを説明したところ、以下の意見を聴収した。 ・自転車通学での安全指導に関する意見があり、16 歳以上の自転車利用者の交通違反に「青切符」を導入する新制度を踏まえ、危険運転を指導するための時間確保に取り組んでいただきたい。 部活動の充実に関しては、次のような意見を徴収した。 ・地域と連携した教育活動の展開として、12 期生・13 期生頃に活発に行われていた「清朋太鼓」は地域住民にとって楽しみの一つであったが、現在行われていないのは残念である。 ・部活動指導の充実を図ることで、教員の時間外労働の増加が見込まれる。それはとても大きな問題であるので、外部委託や拠点校を作って指導を行うなど、組織的な取り組みを行ってほしい。 2 令和7年度 重点目標及び達成目標・具体方策について 以下の意見を聴収した。 （学校 HP での情報発信について） ・令和6年度の学校教育自己診断の結果によると、「(生徒) 27 学校のホームページをよく見る」の肯定率が 25.9%、「(保護者) 26 学校のホームページをよく見る」の肯定率が 33.0% である。発信方法・発信頻度・発信対象者を明確にするなど、情報発信に対して対策が必要ではないか。 ・保護者の立場として学校の HP はあまり見ない。魅力がないというか、更新の頻度が少ないため。 （家庭での学習状況について） ・令和6年度学校教育自己診断の結果によると、「(生徒) 10 家庭での予習・復習など学習時間を確保している」の肯定率 50.0%、「(保護者) 7 子どもは家庭での予習・復習など学習時間を確保している」の肯定率が 42.0% で、家庭での学習時間が少ない結果となっている。家庭での学習時間はとても大切なものであると思うが、学校としてどのような対応をお考えか。 ・実際に家庭において、スマホを見ている時間が長く、その内訳はゲーム、動画視聴などである。勉強に活用しているのを見たことがあまりない。今後は、講習等の動画を Live 配信することで、家庭でのスマホ利用と、学習活動を結び付けていく工夫も取り入れてほしい。

(業務の効率化に伴う文書のペーパーレス化について)

- ・紙で情報提供してほしいという思いは持っている。
- ・昨年度の第3回でも話があったが、今まで紙で提供されていたものを電子データで提供されることが多くなったが、スマホの小さい画面では文書は見にくいので見ていない。紙で情報提供していただきたい。

学校HPでの情報発信についての学校教育自己診断の結果は、学校側の情報発信についての問題点が露呈していると受け止めている。本校生徒のアンケート結果を踏まえて判断していくが、HPよりもSNSを利用しているユーザーが非常に多いことは把握しているので、今後、学校公式SNSを運用することで、保護者、中学生を対象とした情報発信を遅延なくできる校内体制を構築していきたい。

家庭での学習状況についての学校教育自己診断の結果は、大きな問題として受け止めている。昨年度の本校データによると、家庭での平日の学習時間が0分の生徒が、1学年・2学年ともに学年の約1/3の割合で存在している。一方で、本校で導入している教育産業のデジタルコンテンツのアクティブ時間を見ると、課外時間での学習時間は十分にある。ひょっとすると、家庭ではなく自習室や塾で勉強しているのかもしれないので、今後このあたりのデータは精査したい。ただ、一定数、平日に家庭学習ができていない生徒がいるのは事実なので、学年と連携して、家庭での学習時間が増えていくような生徒への働きかけを学校として考えたい。

次回の会議日程

日時	令和7年10月6日(月) 11:00~12:30
会場	みどり清朋高等学校 大講義室